

プレスリリース

2025年11月12日

福島浜通りフロンティアPRコンソーシアム

フロンティア・マガジン第5弾公開。

「地(チ)。ー地方の運動についてー」

~今月のニュース:わたしたちのまちづくりサミット in 南相馬・小高 (12/5)、FUKUSHIMA inVisible Journey (12/12-14)、他~

今春発足した、福島県浜通り地域の18社で構成される「福島浜通りフロンティアPRコンソーシアム」は、地域に根ざした挑戦を社会に広く発信する『福島浜通りフロンティア・マガジン』の第5弾を公開しました。

▼noteページ:https://note.com/frontier_pr/n/n4a93da5e58d2

今回のテーマは「地(チ)。ー地方の運動についてー」。



今回の寄稿者は、浪江町で人と馬と自然とが共生する自律分散型コミュニティ「轟(ノーマ)の谷」をベースに「ノーマ・ホースヴィレッジ」とコミュニティスクール「nomaskole」を運営する高橋大就。大人気漫画/アニメ『チ。ー地球の運動についてー』に触発され、『地(チ)。ー地方の運動についてー』と題して、まちづくりと民主主義のあり方についての持論を展開します。

今月の浜通り起業家インタビューは、南相馬市で「Odaka Pioneer Village」を運営し、若手起業家を次々に生み出している和田智行さんを紹介します。

今月のニュースでは、1)日本全国の地域活性化を担うプレイヤーが福島県南相馬市小高区に集結「わたしたちのまちづくりサミット」を12月5日に開催、2)福島の「今」と向き合うために、福岡

でひらく展覧会「FUKUSHIMA inVisible Journey—この先、福島浜通り関係案内所—」を12月12-14日に開催、3)「輪島かにまつり」が能登半島地震を乗り越え4年ぶりに復活！「能登と東北をつなぐ 輪島かにまつり」として、宮城県・ゆりあげ港朝市で11月23日(日)に開催、のニュースをお伝えします。

1 | 『浜通りフロンティア・マガジン』第5弾

「地(チ)。ー地方の運動についてー」

▼公開ページ: https://note.com/frontier_pr/n/n4a93da5e58d2

今回の寄稿者は、浪江町で人と馬と自然とが共生する自律分散型コミュニティ「蠣(ノーマ)の谷」をベースに「ノーマ・ホースヴィレッジ」とコミュニティスクール「nomaskole」を運営する高橋大就。漫画/アニメ『チ。ー地球の運動についてー』に触発され、『地(チ)。ー地方の運動についてー』と題して、まちづくりと民主主義のあり方についての持論を展開します。

【今回の寄稿者】

・高橋大就(一般社団法人SOMA(ノーマの谷)共同代表／浪江町)



1999年外務省入省。2008年McKinsey & Companyに転職。2011年の東日本大震災を受けて「東の食の会」を立ち上げ、「サヴァ缶」などのヒット商品や多くのヒーロー農家・漁師を生み出す。並行して、オイシックス株式会社の執行役員就任、香港事業・上海事業を立ち上げる。2021年4月、福島県浪江町に移住。現在、東の食の会にて食のブランドづくり、NoMAラボにて住民主体のまちづくり、更に、「蠣(ノーマ)の谷」にて「ノーマ・ホースヴィレッジ」を運営。

高橋 大就 (たかはしだいじゅ)
一般社団法人東の食の会 専務理事
一般社団法人「NoMAラボ」代表理事
一般社団法人SOMA (ノーマの谷) 共同代表

2 | 今月の浜通り起業家:OWB株式会社 和田智行(南相馬市)



福島県南相馬市出身・在住。2011年3月の原発事故により家族とともに約6年間の避難生活を余儀なくされる。2014年、避難先から通いながら避難指示区域の南相馬市小高区にて創業。「地域の100の課題から100のビジネスを創出する」というミッションを掲げ、一度は住民ゼロとなった町に30以上の事業を創出する。

和田智行（わだともゆき）
OWB株式会社 代表取締役

■起業と地域への思い

原発事故によって被災し避難生活を送る中で、我が家は将来的な帰還を数か月後には決めていましたが、多くの住民は生活インフラやコミュニティが失われたふるさとへの帰還に対して悲観的でした。また、その生活インフラを担う事業者としても、住民の帰還が見込めない地域での事業再開は難しいという考え方でした。先に戻るのは住民か事業者か。そんな膠着状態が続くなかで、帰還を決めている若い世代の住民で起業経験があるのは自分だけかもしれないと思付いた時に勝手な使命感が生まれ、同時に様々な地域課題を「ビジネスのタネ」と捉えることができるようになりました。むしろ住民ゼロから新たなまち・社会が構築できる日本で唯一のフロンティアであると気づき、「地域の100の課題から100のビジネスを創出する」というミッションが生まれて走り始めました。

■事業の内容と社会的意義

南相馬市小高区の避難指示解除以前より食堂やスーパーなどのインフラ整備からスタートし、女性の職場としてのガラス工房や宿泊機能付きコワーキングスペースなどを運営してきました。100の事業創出の仲間づくりとして起業支援にも取り組み、一度は住民ゼロとなったまちに自社事業と合わせて30の事業を創出してきました。

■困難とそれを突破したエピソード

まだ居住が認められない小高区で創業する際は、誰もが否定的でした。「事業に将来性がない」という理由で投資も融資も受けられず、補助金も採択されなかつたので、わずかな自己資金で小さなコワーキングスペースを開設することからスタートしました。2014年に食堂「おだかのひるごはん」をオープンし日常的に集客できるようになったことが転機となり、小高区で事業を興したり再開したりすることに対して否定的な空気が払拭されていきました。

■仲間・コミュニティとの関係

事業の増加に伴い自然と仲間も増えていきました。運営するコワーキングスペースでは、「仕事と暮らしと学びと遊びの境界線を曖昧にする」という考えのもと設計・運営し、それらがひとつの空間で同時多発的に発生する状況をつくることで、思わぬ化学反応やイノベーションが創発されるような場づくりを意識しています。

■これからの展望

1000人を雇用する1社に依存しその企業の意思決定に左右される地域ではなく、10人を雇用する100社が自律的に地域課題を解決している、自立的で持続可能な地域を実現します。そのために原発事故避難指示区域内で100の事業を創出してみせることで、経済合理性がない地域でも事業を興して課題解決に取り組むことを”普通の活動”にしてきます。

■起業家個人としての価値観・哲学

ゼロフロンティアが生まれた浜通りこそ、ゼロベースから次の社会の在り方を示し実践していくチャンスを与えられた地域だと考えています。そのような考え方で生まれた取り組みが、成熟しきった日本社会を次のステージへと押し上げ、日本が混沌としてきた世界に対して次の世界の在り方をリードしていく国になれる2度とないチャンスもあります。地元住民として、そんなチャンスを与えられたことに対する責任とそれを実践し実現していく日々にモチベーションを感じています。

3 | 今月のニュース：

■日本全国の地域活性化を担うプレイヤーが福島県南相馬市小高区に集結「わたしたちのまちづくりサミット」を開催

本コンソーシアムにも参加しているOWB株式会社は、三菱地所株式会社、株式会社三菱地所設計と共に、国内のさまざまな地域の活性化を目指しまちづくりに取り組むプレイヤーが集結し、日本全国の各地域におけるチャレンジを発信・共有するイベント「わたしたちのまちづくりサミット」（以下「わたまちサミット」）を、2025年12月5日（金）、福島県南相馬市小高区にて開催します。

プレスリリース：

https://drive.google.com/file/d/1cTFBsRjiD9TLCwgSR1b_W3AOobGSu_Krc/view?usp=drive_link

URL: <https://watamachiodaka.peatix.com/>

■12月に福岡で開催！「FUKUSHIMA inVisible Journey—この先、福島浜通り関係案内所—」福島の「今」と向き合うために、福岡でひらく展覧会

本コンソーシアムにも参加しているNPO法人インビジブルは、2018年より福島県浜通り地域で継続的に展開してきたアートプロジェクトを紹介する展覧会「FUKUSHIMA inVisible Journey —この先、福島浜通り関係案内所—」を、2025年12月に福岡・VIEWWおよびマヌコーヒーロースターズ クジラ店にて開催します。

プレスリリース：

https://drive.google.com/file/d/1Jle6gPOkmnqCI88IUsS5PccWBuGM7JVk/view?usp=drive_link

■「輪島かにまつり」が能登半島地震を乗り越え4年ぶりに復活！「能登と東北をつなぐ 輪島かにまつり」として、宮城県・ゆりあげ港朝市で11月23日（日）に開催

本コンソーシアムにも参加している一般社団法人東の食の会は、輪島市小型底引き組合、輪島磯入組合、有限会社舳倉屋（いずれも石川県輪島市）が、11月23日（日）に宮城県名取市のゆりあげ港朝市で開催する「能登と東北をつなぐ 輪島かにまつり」をサポートします。

プレスリリース：<https://prttimes.jp/main/html/rd/p/000000118.000045950.html>

■「福島浜通りフロンティアPRコンソーシアム」とは

福島県浜通り地域で活動する起業家18社が連携し、地域の魅力や新たな取り組みを広く発信し、自立した地域コ



ミニティという新しい社会モデルを全国に広げることを目的とした組織です。各社のシナジーを活かし、地域の活性化と持続可能な発展を目指し、最新の浜通り情報を毎月発信しています。

(発足時プレスリリース：https://prone.jp/press_releases/6178)

・参加企業:18社

- OWB株式会社 [南相馬市]

<https://owb.jp>

- 株式会社 haccoba [南相馬市]

<https://haccoba.com/>

- 株式会社ふくふく醸造 [南相馬市]

<https://www.instagram.com/pukupukubrewing/>

- wind & soil [南相馬市]

<https://wind-and-soil.jp/>

- marutt株式会社 [南相馬市]

https://note.com/marutt_design / https://www.instagram.com/tubutubu_odaka/

- 一般社団法人 Horse Value [南相馬市]

<https://www.horsevalue.jp/>

- 株式会社MARBLiNG [飯舘村]

<https://www.zuttosoko.com/>

- 株式会社 浪江商事(なみえアベンジャーズ) [浪江町]

<https://www.instagram.com/namie.avengers/>

- ジョワイストロナミエ [浪江町]

<https://www.instagram.com/joyeuxstronamie/>

- 一般社団法人NoMAラボ [浪江町]

<https://noma-lab.jp/>

- 一般社団法人SOMA (ノーマの谷) [浪江町]

<https://nomavalley.jp/>

- NPO法人 相馬救援隊 [浪江町]

<https://www.instagram.com/sart34org/>

- 一般社団法人F-ATRAs [双葉町]

<https://f-discover.com>

- NPO法人インビジブル [富岡町]

<https://invisible.tokyo/>

- Rabbit & Turtle 株式会社 [富岡町]

https://libertypark.jp/rabbit-turtle_company/

- 株式会社 ワンダーフーム [いわき市]

<http://www.wonder-farm.co.jp/>

- 一般社団法人Hamadoori 13 [福島県浜通り地域全般]

<https://hamadoori13.or.jp/>

- 一般社団法人 東の食の会 [東北全般]

<https://www.higashi-no-shoku-no-kai.jp/>

・本件に関するお問い合わせ先

福島浜通りフロンティアPRコンソーシアム事務局
担当:高橋 Email:info@noma-lab.jp